



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月5日

上場会社名 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 勇佑

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井口 宗久

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	751	1.2	323	0.5	323	0.5	222	0.5
2019年9月期第1四半期	742	5.7	321	0.8	321	0.8	221	1.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	66.40	
2019年9月期第1四半期	66.08	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	4,914	4,072	82.9
2019年9月期	5,170	3,983	77.0

(参考)自己資本 2020年9月期第1四半期 4,072百万円 2019年9月期 3,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		35.00		40.00	75.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	2.2	580	3.4	580	3.1	400	3.5	119.41
通期	3,000	5.3	1,100	7.8	1,100	7.5	750	6.0	223.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	4,090,000 株	2019年9月期	4,090,000 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	740,146 株	2019年9月期	740,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	3,349,854 株	2019年9月期1Q	3,349,854 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日の3ヶ月間)におけるわが国経済については、消費税率引上げの影響はあったものの、還元策等もあり個人消費は比較的回復基調が続いています。当社の主要な販売先である金融機関におきましては、収益状況が厳しいため経費削減の動きはあるものの、システム更新時には費用対効果の大きい当社システムへ切り替えて頂いたり、業務効率化の動きからシステム導入を推進頂くなど、受注獲得に結び付いています。

このような環境下にあつて、「システム事業」につきましては、「担保不動産評価管理システム」では大型案件の獲得に成功するなど受注は予定通り進んできており、システム開発に係る「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」の当第1四半期累計期間の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期並みを達成しています。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっています。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は751,087千円(前年同期比1.2%増)、営業利益は323,304千円(同0.5%増)、経常利益は323,493千円(同0.5%増)、四半期純利益は222,437千円(同0.5%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関や信用金庫から大型受注を獲得したほか、「財務分析・企業評価支援システム」や「融資稟議支援システム」は大手地銀や信用金庫からの多くの受注があり、営業活動は順調に進んでいます。その他「自己査定支援システム」は信用金庫中心に前年同期比増収となっていますが、システムインテグレーション部門の売上高は、247,635千円(前年同期比3.1%減)、セグメント内の売上高構成比は34.7%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、例年通り「担保不動産評価管理システム」で使用する路線価データの納品があり前年同期比増収となり、システムサポート部門の売上高は464,999千円(前年同期比2.2%増)、セグメント内の売上高構成比は65.3%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は712,635千円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益は305,919千円(同0.0%増)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2019年7月に賃貸マンション1棟を購入し、賃貸マンション3棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計6物件あり、当第1四半期累計期間の売上高は、賃貸収入38,451千円(前年同期比21.4%増)、セグメント利益は17,385千円(同9.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、4,914,467千円となり、前事業年度末に比べ256,292千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が139,526千円増加した一方で、売掛金が349,156千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、842,396千円となり、前事業年度末に比べ344,735千円減少いたしました。これは主に、前受収益、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、4,072,070千円となり、前事業年度末に比べ88,442千円増加いたしました。これは四半期純利益の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は、82.9%(前事業年度末は77.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、主要な販売先である金融機関の取り巻く環境は、低金利政策が継続され依然厳しいと見られますが、消費や生産などは当面堅調に推移し景気は回復基調と考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の様々なニーズを捉えて、地方銀行への販売を強化し、信用リスク管理業務のみならず、営業推進や総務・経理・資金証券・営業店窓口業務までのシステムへも積極的に展開し品揃えの充実を図り、受注に結び付けていく考えです。

2020年9月期におきましては、売上高3,000,000千円（前年同期比5.3%増）、営業利益1,100,000千円（同7.8%増）、経常利益1,100,000千円（同7.5%増）、当期純利益750,000千円（同6.0%増）と予想しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,152,359	2,291,885
売掛金	687,607	338,451
仕掛品	42,927	21,999
未収収益	3,339	7,945
その他	10,462	9,568
流動資産合計	2,896,696	2,669,850
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,165,933	1,165,933
減価償却累計額	△246,384	△257,139
建物(純額)	919,549	908,794
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△3,003	△3,063
構築物(純額)	1,202	1,142
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△75,054	△75,054
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	64,065	64,690
減価償却累計額	△59,304	△60,020
工具、器具及び備品(純額)	4,761	4,669
土地	1,133,696	1,133,696
有形固定資産合計	2,059,209	2,048,303
無形固定資産		
電話加入権	1,116	1,116
ソフトウェア	14,923	14,257
無形固定資産合計	16,039	15,373
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	131,586	113,710
会員権	12,650	12,650
差入保証金	44,577	44,579
投資その他の資産合計	198,814	180,940
固定資産合計	2,274,063	2,244,617
資産合計	5,170,760	4,914,467

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,449	23,205
未払金	85,502	108,634
未払消費税等	30,766	44,198
未払法人税等	198,367	89,739
前受金	16,737	—
前受収益	337,887	199,001
賞与引当金	73,550	26,084
製品保証引当金	5,194	340
受注損失引当金	—	2,638
その他	10,008	50,286
流動負債合計	893,464	544,131
固定負債		
役員退職慰労引当金	248,654	253,846
長期預り保証金	45,013	44,419
固定負債合計	293,668	298,265
負債合計	1,187,132	842,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,054,102	4,142,545
利益剰余金合計	4,055,919	4,144,362
自己株式	△764,091	△764,091
株主資本合計	3,983,627	4,072,070
純資産合計	3,983,627	4,072,070
負債純資産合計	5,170,760	4,914,467

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	742,066	751,087
売上原価	247,494	250,689
売上総利益	494,572	500,397
販売費及び一般管理費	172,784	177,092
営業利益	321,787	323,304
営業外収益		
受取利息	37	37
受取手数料	16	16
助成金収入	—	135
営業外収益合計	53	188
経常利益	321,841	323,493
税引前四半期純利益	321,841	323,493
法人税、住民税及び事業税	83,059	83,179
法人税等調整額	17,407	17,876
法人税等合計	100,466	101,056
四半期純利益	221,374	222,437

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	710,391	31,674	742,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	710,391	31,674	742,066
セグメント利益	305,883	15,904	321,787

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	712,635	38,451	751,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	712,635	38,451	751,087
セグメント利益	305,919	17,385	323,304

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。